

豊長類研究所図書室紹介

豊長類研究所図書室 高井 一 恵

豊長類研究所図書室は、愛知県犬山市にある遠隔地図書室です。豊長類研究所開所の翌年1968年に本棟5階に開室し、1977年に現在の場所である3階に移転しました。図書室西側の非常口からは犬山城や木曾川を望め、南の窓からは犬山市街を見晴らせます。よく晴れた日には25キロほど離れたJR名古屋駅のツインタワーも見ることができます。

図書室資料は「豊長類学に関する文献を網羅する」という方針に基づき収集されています。「豊長類学」という単独の分野があるわけではないため、動物学・生物学のみならず、心理学・人類学・古生物学・医学・薬学・農学など、収集分野は多岐に渡ります。

所蔵資料の中で最も特色のあるものは豊長類学関連の別刷コレクションです。25年余り前から非常勤職員1名が専任で業務に当たり、著者に直接論文の寄贈を依頼して収集してきた文献です。別刷収集の経緯・方法については「静情」Vol.25 No.3(1988年)に述べられていますので、詳しくはそちらをご参照下さい。別刷の届かない日は一日も無く、年に4千件程度の増加で現在は10万件を越す数になりました。1995年には別刷保管のために「文献資料室」を増設しましたが、そこも既に9割ほど埋まっています。世界各国の研究者の方々にもいつも快くご寄贈いただいているおかげです。

ここ数年で大きく変わったのは、このコレクションを検索するための「豊長類学文献索引データベース」を作成した点です。別刷の数が増大になっても、検索には初期の頃のまま、目録カードで第一著者名から探すしか方法がありませんでした。1995年になってようやく、新しく受け入れる分についてはその都度書誌情報を入



力し、少しでもコンピュータ検索できるようにしていくことが決定されました。しかし既に所蔵している何万件もの文献の入力の目途は全く立っていませんでしたが、幸いにも1997年から1999年にかけてデータベース作成のための科学研究費補助金を取得でき、過去の収集分も一気に入力することができました。年代によっては様式の不統一もあり、また、キーワード検索も不備であるなどデータベースとしてはまだまだ多くの問題を抱えています。この4月からは新たなシステムも導入して、検索・更新作業ともに使いやすいものに改良しつつあります。別刷コレクションの所蔵検索システムというだけでなく、いずれは豊長類学文献全般のレファレンスツールとしても役立てられるものにしていきたいと願っています。

「豊長類学文献索引データベース」には豊長類研究所内からならどこからでも24時間自由にアクセスでき、所外に向けては国立情報学研究所のNACSIS-IRで公開しています。近いうちに豊長類研究所のホームページでも公開する予定です。

残念ながら別刷コレクションの複写依頼には応じられませんが、閲覧は予め図書室にご連絡いただければどなたでも可能です。なお、通常

の図書・雑誌については学内外からの複写を受け付けています。京都大学所属の方に限っては、所属の図書室宛に郵送での図書貸出も行っていますので、所属図書室を通じてお申込み下さい。

京都地区から離れた小さな図書室ですが、機会があればどうぞご利用下さい。

(たかい かずえ)



閲覧室風景



別刷キャビネットと徳田文庫

撮影：木下 實